

1級 学科試験問題

1. 試験時間 60分

2. 問題数 50題 A群(真偽法25題)及びB群(多肢択一法25題)

CBTに登録した試験問題の中から、アットランダムに1パターンを抽出しています。

■A群(真偽法)

1. 建築物の外部から内部へ与える環境衛生上の影響として、光が昼間与えるマイナス要因は、プラス要因より大である。
2. 見た目に清潔できれいであるということは、衛生的であると言える。
3. 鉄筋コンクリート造において、コンクリートの中性化は構造体の寿命に影響しない。
4. エレベータでは、ランディングプレート、扉、溝、内壁、インジケータなどが清掃の対象となるが、大切なことは、溝の汚れ物質など事故につながる要因を排除し、安全運行に寄与することである。
5. タフティッドカーペットで使用されているラテックスゴムは、水の影響は受けない。
6. 天井仕上げ材料としては、軟質繊維板やロックウール(岩綿)吸音板がある。
7. 洗剤の濃度は、その濃さに比例し、効果が増す。
8. 助剤の働きの一つとして、界面活性剤の効果を高める働きがある。
9. 高圧洗浄機は、圧倒的な水圧で落ちにくい汚れを強力に吹き飛ばす機械である。

10. ポリッシャーの操作中に、異常音が発生する原因のひとつには、モーター内部への入水によるものがある。
11. 鉄さびや錆は、アルカリ剤によって溶解する。
12. ノンスリップに使われる真ちゅうは、酸化膜を生成することで変色しない。
13. エクストラクション方式は、ポリッシャー方式に比べると洗浄力が高い。
14. 単位作業時間は、作業量要因数×標準作業時間×1日(月間)作業回数で求めることができる。
15. 標準作業時間は、主体作業時間と除外時間の2つで構成されている。
16. 品質管理上の汚れの確認方法は、全てをくまなく見るほうが適している。
17. 建築物清掃の管理は、計画→実施→点検評価→改善のサイクルを円滑に回すことがポイントである。
18. 廃棄物の環境サイクルとは、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減させることである
19. 廃棄物処理の減量化とは、廃棄物の排出量を全体として少なくすることである。
20. 通常、85dB以上の騒音環境のもとで長時間働いていると、騒音性難聴を起こす危険がある。
21. 清掃作業における労働災害の原因として、・中高年齢者が多い・労働集約型業務である・建物が分散していることなどがあげられる。
22. 感染が発生する重要な感染経路として、接触感染、飛沫感染、空気感染の3つがある。

23. 清掃における衛生管理での建物の区域として、汚染区域と清潔区域がある。
24. 特定建築物の維持管理権原者は、建築物環境衛生管理技術者を特定建築物に常駐させることが義務づけられている。
25. 「建築物環境衛生管理基準」では、定期清掃(大掃除)を 1年に 1回、定期に統一的に行う。

■B群(多肢択一法)

1. 建築物清掃の除去対象物の説明として、最も不適切なものはどれか。
ア ごみは直接、衛生上の害をもたらさない
イ ほこりの中には、炭素粒子・金属粉、感染性細菌、アレルギー病原菌等が含まれる
ウ ダニの糞や死骸等は、アレルギーの原因となることがあるので頻繁かつ丁寧に除じんする
エ カビは、細菌類に分類され、温度・湿度・栄養分が発生原因となる
2. 汚れに関する記述として、最も不適切なものはどれか。
ア 汚れは有害物を含むものと含まないものがある
イ 汚れの大部分は空気中の粉じんやミストである
ウ 汚れは美観を損ない、建材に悪影響がある
エ 汚れは人に心理的影響を与える
3. 建築の基本設計図面に関する記述として、最も不適切なものはどれか。
ア 配置図は、敷地のどこに建築物を位置させるかを示したもの
イ 平面図は、床面から 50cm程度高い水平面で切断し、垂直に真上から下を見たもの
ウ 断面図は、建築物の切断面を図面化したもの
エ 仕上げ表は、建築主(施主)に引き渡す最終的な完成状態を示したもの
4. 防災設備に関する記述として、最も不適切なものはどれか。
ア 消火設備には、屋内消火栓、スプリンクラ設備、ドレンチャ設備等がある
イ 警報設備には、自動火災報知設備、漏電火災警報設備、非常警報設備等がある
ウ 避難設備には、避難用はしご、ゴンドラ、救助袋、避難ロープ等がある
エ 警備用設備には、ITV や高感度のセンサーを用いた監視装置等がある
5. ステンレススチールのエッティング仕上げの記述として、最も適切なものはどれか。
ア 連続的な研磨目をつけて仕上げたもの
イ 無方向性の研磨目をつけて仕上げたもの
ウ 化学処理によって浮出し模様にしたもの
エ バフかけを行い、表面を光輝ある仕上げにしたもの
6. アルミニウムの記述として、最も不適切なものはどれか。
ア 純アルミニウムは加工しやすい金属である
イ 多くは表面処理加工を施す
ウ アルカリや酸にも侵されない
エ 耐候性を持たせるために塗膜処理されたものがある

7. 木質系床材に関する記述として、最も不適切なものはどれか。

- ア 単層フローリングと複合フローリングに分類される
- イ 単層フローリングはすべて1枚の板でできている
- ウ 単層フローリングはアルカリ分で変色する
- エ 表層仕上げ剤には樹脂塗装などがある

8. フロアーポリッシュの性能評価に関する記述として、最も不適切なものはどれか。

- ア 床面に対する照明の良いところを選ぶ
- イ タイルの色調は単一色調を選ぶ
- ウ 試験に使用する床は施工直後のものを選ぶ
- エ 試験期間は最低1か月程度を予定する

9. 洗剤の使用濃度の記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 界面活性剤は一定の濃度に達すると、分子が集合体をつくる
- イ 業務用洗剤は使用濃度を表示することが法律で定められている
- ウ 洗剤は2倍で使用した場合が最も効果的である
- エ ミセルの存在する最高濃度を臨界ミセル濃度という

10. 真空掃除機の記述として、最も不適切なものはどれか。

- ア 繊維の間や狭い隙間にいるほこりを吸引除去できる
- イ 落着した微細なほこりを、タオルやダスタークロスで拭く場合よりもよく取れる
- ウ 除去したごみやほこりの処置が簡便である
- エ 一般的の機種では、微細なほこりや細菌がフィルターを通過するものがある

11. 各測定器の使用に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 光沢度計は、光の反射で表面の凸凹の状態・平滑度合いを判断する
- イ フィルター法は、汚れの付着度合いで判断する
- ウ カーペット汚染度測定器は、汚れが有るか無いかを判断する
- エ 透視度法は、付着した汚れをふき取って判断する

12. モップの房糸素材のうち帆布糸の記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 雑繊維も交じっていて品質が不安定
- イ 合成繊維なので品質が悪く耐久力がない
- ウ ポリエステルとポリアミドを使用し、微細な汚れも除去できる
- エ 綿・合成繊維を使用しもっとも丈夫で耐久力がある

13. 石材系床材の日常清掃として、最も不適切なものはどれか。

- ア 油剤を含んだモップでの除じん
- イ 真空掃除機での除じん
- ウ 自動床洗浄機での水洗浄
- エ 自在ぼうきでの除じん

14. ビルの汚れ物質のうち、有機質に分類されるものとして、最も適切なものはどれか。

- ア 土砂
- イ プラスチック類の粉末
- ウ 燃焼によって生じた灰
- エ 金属などの鉱物粉

15. カーペット素材を見分ける燃焼法に関する記述として、最も不適切なものはどれか。

- ア ウールは縮れながらくすぶるように燃える
- イ アクリルは溶けながら徐々に燃え、炎を離すと燃え続かない
- ウ ナイロンは冷えるとガラスのように硬い球になり、熱いうちに引き伸ばすと糸状になる
- エ 綿や麻は燃やすとパッと燃え、炎を離しても燃える

16. 病院清掃における留意事項の4原則の記述として、最も不適切なものはどれか。

- ア 静粛な清掃
- イ 患者優先
- ウ ほこりを立てない清掃
- エ 医学的根拠を伴わない清掃

17. 作業計画作成にあたって把握しなければならない項目として、最も不適切なものはどれか。

- ア 必要人員の算出
- イ 作業場所の特徴
- ウ 竣工年月日
- エ 必要資機材の種類

18. 建築物清掃の改善の着眼点として、最も不適切なものはどれか。

- ア 仕様書や作業基準表に限定されている
- イ 衛生的環境の確保がなされている
- ウ 建築物全体が快適環境となっている
- エ 安全が確保されている

19. 品質インスペクションの実施手順として、最も適切なものはどれか。

- ア 計画 → 準備 → 点検 → 評価 → 改善 → 再点検 → 再評価
- イ 計画 → 準備 → 点検 → 評価 → 再点検 → 改善 → 再評価
- ウ 準備 → 計画 → 点検 → 評価 → 改善 → 再点検 → 再評価
- エ 準備 → 計画 → 点検 → 評価 → 再点検 → 改善 → 再評価

20. 環境サイクルの記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 天然資源 → 生物学的諸活動 → 廃棄物の処理過程 → 生産過程
- イ 天然資源 → 生産過程 → 生物学的諸活動 → 廃棄物の処理過程
- ウ 廃棄物の処理過程 → 生物学的諸活動 → 生産過程 → 天然資源
- エ 廃棄物の処理過程 → 生産過程 → 天然資源 → 生物学的諸活動

21. ごみの三成分表示法の三成分として、最も不適切なものはどれか。

- ア 灰分
- イ 水分
- ウ 可燃分
- エ 不燃分

22. リスクアセスメントに関する記述として、最も不適切なものはどれか。

- ア 毎年の安全衛生計画を作成する前に行う
- イ 主に行動面の対策を対象とする
- ウ 作業手順に従って実行する
- エ リスクを見積もりし、数値化することが多い

23. 感染が発生する重要な感染経路として、最も不適切なものはどれか。

- ア 空気感染
- イ 飛沫感染
- ウ 経路感染
- エ 接触感染

24. 建築物環境衛生管理技術者の主要な業務として、最も不適切なものはどれか。

- ア 業務計画の立案
- イ 収支報告書の作成
- ウ 業務の指揮監督
- エ 管理基準に関する検査の評価

25. 建築物清掃業の登録基準について、最も不適切なものはどれか。

- ア 物的基準
- イ 人的基準
- ウ 資的基準
- エ 質的基準

2025 年度 ビルクリーニング技能検定

1 級 学科試験

< 正解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	誤
2	誤
3	誤
4	誤
5	誤
6	正
7	誤
8	正
9	正
10	誤
11	誤
12	誤
13	誤
14	正
15	誤
16	誤
17	正
18	誤
19	正
20	正
21	正
22	正
23	誤
24	誤
25	誤

B群 多肢択一法	
設問	解答
1	工
2	イ
3	イ
4	ウ
5	ウ
6	ウ
7	イ
8	ウ
9	ア
10	イ
11	ア
12	工
13	ア
14	イ
15	イ
16	工
17	ウ
18	ア
19	ア
20	イ
21	工
22	イ
23	ウ
24	イ
25	ウ